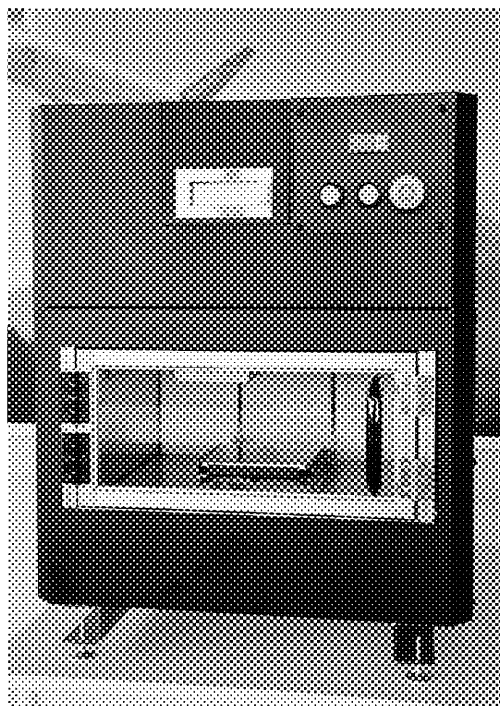


ペレットでエンブラ造形

桜井製作所、3D小型機



エンブラのペレット材で造形できる
「MINI-O」

【浜松】桜井製作所は3Dプリンター「HERO」シリーズに、ペレット材専用でエンジニアリングプラスチックの造形が可能な小型機「同MINI-O（ミニオ）」を追加し、16日に発売する。造形物の反り返りの原因となる、押し出した材料の急速な温度低下を抑えるため、機内の温度を最大100度Cに維持できる。消費税抜きの価格は仕様で異なるが、300万円以内。初年度10台の販売を目指す。

開発段階の樹脂材料を造形し、特性を検証するような用途や試作分野での需要を狙う。エンブラやガラス繊維、植物由来のセルロースを含む複合材、スーパースーパーエンブラの一部の造形にも対応する。造形サイズは縦・横・高さともに最大100mm。射出成形機でノウハウを生かして、

研究開発部門での設置を想定した小型の本体に必要な機能を納めた。X・Y・Zの各軸の駆動にボールネジを採用し、高精度に造形する。

本体寸法は幅560mm×奥行き600mm×高さ700mm。

従来機では最大60度Cだった機内温度を同100度Cに高めるため、駆動部品を熱の影響が出ない配置にした。ペレットを溶かして押し出す「エクストルーダー」の温度は最大350度Cで、ミニオ専用に開発した。

ミニオは16、17の両日に静岡県富士市のふじさんめつせで開催される「ふじのくにセルロース循環経済国際展示会」に出展する。